

11月18日「創価学会 創立 記念 日」

導入部

11月18日は、5月3日と並ぶ創価学会の最重要の記念日です。11月18日の歴史と意義を学んでいきましょう。

1枚目／創価学会 創立 記念 日 （8枚目の絵の裏に貼る）

11月18日は、創価学会の創立記念日です。1930（昭和5）年11月18日、創価学会は、教育者の集まりである「創価教育学会」として、初代会長・牧口常三郎先生と、後の第二代会長となる戸田城聖先生の師弟二人で出発しました。

現在、世界192カ国・地域に広がるSGI（創価学会インターナショナル）の源流は、ここにあるのです。

2枚目／師弟の絆が生んだ『創価教育学体系』（1枚目の絵の裏に貼る）

11月18日を創立記念日としたのは、牧口先生の著書である『創価教育学体系』の第1巻の発刊日が、1930（昭和5）年の11月18日であったからです。

「創価」という言葉は、牧口先生と戸田先生との対話から生まれました。「人生の目的は価値の創造である」と説く牧口先生の思想から、「創価」という名称を戸田先生が提案したのです。

牧口先生は、編集・発刊の一切に携わった戸田先生の尽力なくして、『創価教育学体系』の発刊はなかったと述べています。

3枚目／国家 権力 による 弾圧

(2枚目の絵の裏に貼る)

1928 (昭和 3) 年に 日蓮大聖人の 仏法 に 皈依 していた 牧口先生・戸田先生 は、人々の 幸福 を 願い、民衆の 生活を 向上 させていく 必要があると 痛感 していました。そして、それは仏法の 実践 によって 可能 であると 訴え、創価教育学会は、各地で 座談会 を 開き、地道な 活動を 展開 していきました。

しかし、1930 年代 当時、日本は 戦争 へと 突き 進んでいった 時代 で、国民を 統制 するため、国家神道 による 思想の 統一 を 図 っていました。これにより 創価教育学会は、国家権力 から 弾圧 されていく こと になります。

4枚目／神 札 を 拒 否

(3枚目の絵の裏に貼る)

国家権力 に 迎合 した 宗門 は、大聖人の 仏法の 根本 である 御書 を 改ざん し、学会 に対しては、神 札 を 受けるよう 迫 ってきました。しかし、牧口先生 は、宗門の 要求 を 断固 として 拒否 しました。

「一宗 が 滅びることではない、一国 が滅びることをなげくのである」と。

牧口先生の 民衆 を 思う 大感情 が、そこにはあったのです。

5枚目／牧口先生の 殉教

(4枚目の絵の裏に貼る)

牧口先生 と 戸田先生 は 迫害 を 恐れず、信念 を 貫 きました。その 結果、治安維持法 違反 と 不敬罪 の 容疑 で 逮捕 される こと になりました。

牧口先生は、厳しい 取り 調べの 最中 も、仏法の 正義 を 堂々と 主張 し 続 けました。約 1 年 4 ヶ月の 獄中 闘争 の 末、牧口先生は 1944 年 (昭和 19 年) 11 月 18 日に 亡 くなりました。この 日 は、奇しくも 『創価教育学体系』 第 1 巻 発刊 日 でした。

6 枚目／^{まきぐちせんせい いし つ とだ せんせい ひとり た}牧口先生の遺志を継ぎ、戸田先生は一人立つ

(5 枚目の絵の裏に貼る)

1945 年 (^{しょうわ}昭和 20 年) 7 月、^{とよ た まけいむしよ せんご なかの けいむしよ かいしょう}豊多摩刑務所 (戦後、中野刑務所と改称) を出た戸田先生が最初に目にしたのは、あたり ^{いちめん や のはら}一面焼け野原となった日本の惨状でした。その ^{こうけい}光景を ^{まえ}前に戸田先生は、牧口先生の遺志を継ぎ、^{こうせん るふ}広宣流布の実現を目指して ^{ひとり た}一人立ったのです。

戸田先生は ^{まきぐちせんせい いっしゅうきほうよう せんげん}牧口先生の一周忌法要で、こう宣言しました。

「先生は、死して ^{ごくもん}獄門を出られた。不肖の弟子の ^{わたし}私は、生きて獄門を出た。……^{こうせん るふ}広宣流布は、誰がやらなくても、この戸田が ^{かなら}必ずいたします」

7 枚目／^{まん せ たい たっせい}75万世帯の達成

(6 枚目の絵の裏に貼る)

この ^{しんしゅつぱつ}新出発にあたって戸田先生は、学会の活動は ^{きょういくかいかく}教育改革だけに ^{とど}留まらず、^{しゃかい せいかつ}社会・生活の幅広い改革を目的とすることから、^{そう かきょういくがくかい めいしやう}創価教育学会の名称を「^{そうかがっかい}創価学会」へと ^{へんこう}変更しました。そして、戦後の ^{こうはい}荒廃した社会の中で、多くの民衆に ^{きぼう ゆうき}希望と勇気を与え ^{あた つづ}続けていったのです。

^{だいに だいかいちょう}第二代会長の戸田先生は、^{もくひやう}目標とした 75 万世帯の ^{ぐ きやう たっせい}弘教を達成し、その翌年の ^{しょうわ}昭和 33 年に ^{せいきよ}逝去されました。

8枚目／創立の精神を受け継ぎ、世界へ

(7枚目の絵の裏に貼る)

牧口先生・戸田先生の意志を継いで、第三代会長に就任した池田先生は、創価学会をさらに大きく発展させ、SGI(創価学会インタナショナル)を結成して世界192カ国・地域に日蓮大聖人の仏法を広めました。そして、今日の創価学会、また池田先生の平和・文化・教育活動は、世界中の多くの知性から賞賛されています。それは、同時に牧口先生・戸田先生の偉大な功績の証明でもあります。

池田先生は、創立の月・11月に綴られた随筆のなかで、次のように呼びかけられています。

『『創立の月』とは、新しい歴史を“創る月”である。正義の師子が猛然と“一人立つ月”でもある。(中略)『創立の月』は、常に『今この時』にある。今の瞬間、瞬間を勝ち取ってこそ、次の五十年、百年にわたって崩れぬ、常勝の学会が『創立』されていくからだ!』と。

11月18日には、創価学会の歴史を学ぶとともに、民衆の幸福に尽力された三代会長の崇高な精神を受け継ぐ意義があるのです。

決意 など